

# グリーン会 会報

OCT  
2016  
Vol.7



家族会員

19

家族

38

人

個人会員

31

人

合計

50

家族

69

人

2016.10.10 現在

## ～行事予定のご案内～

### ◆ 忘年会

日時：12月18日(日) 午後1時～4時

場所：Hillcrest Villa

住所：6970 Helsem Way,  
Dallas, TX 75230

\*尚、詳細は11月中旬にご案内致します。

忘年会に相応しいアトラクションも考え中  
ですので、皆様、お誘い合わせの上ご参加下  
さい。

また、楽しいアイデアなどがありましたら  
是非役員までお知らせ下さい。

よろしく願いいたします。

## \*\*\*\*\* 目次 \*\*\*\*\*

■ 副会長雑感	
平嶺多美子 .....	2
■ 新役員自己紹介	
* 町 哲志 .....	3
■ 会員広場	
* 「三味線」 コーバン 富美子 .....	4
* 「節目とご縁」 成川 昌子 .....	5
* 「遍路転がし」 黒石 美保子 .....	6
■ 催しの報告	
* 料理講習会を終えて .....	8
* 大谷牧場でBBQパーティー .....	8
■ ヒューストン領事館情報	
■ ダラスグリーン会 規約 .....	10
■ 訂正 .....	11
■ 編集後記 .....	11

## 副会長雑感

### 「食を考える」

平嶺 多美子

たまたまボランティアとして、菜食の日本料理を教えてくれと頼まれて同意してしまっただけから、献立を立てようとして、はたと行き詰まってしまった。肉、魚とそのバイプロダクト、卵類、乳製品、砂糖、MSG、着色、添加物等、一切食べないとゆう、その他に栄養化のバランス、カロリーが加わってくる。結局、物の味を生かした料理と言う事になるしかない。

前はよく、新じゃが、新生姜、新玉ねぎと買って作ったのを覚えているが、この頃スーパーに行っても新しいのか古いのか余り分からない。私の周りを見渡してみると、あるわあるわ、インスタントスープ、ソース、即席漬の素等。分析表を観ると全部、アミノ酸、着色等、色々入っている。味を濃くしたり、MSGを入れて美味しいと思わせるようにしている。我々の体に本当の自然の食物をと考えると何事も難しくなっている。

冬にスイカがマーケットに売っている。時期外れの果物、夏の間中に冬の白菜があり、大根があり、四季を無視して販売されている。物がありすぎて、昔のように季節の新鮮な物

だけ舌鼓を打って食べる事は無くなってしまった。

先日行った店にマルちゃんのカップラーメンが3個1ドルで、店に山積みされていたのを見た。多くの人が作りたくない、こういうインスタントの物を食べることになり、思うとゾツとしてしまった。我々も年を重ねるにつけ、食も細くなってくる。又、腸が弱り消化時間の長いものを体が避けるようになるからだろうか。腸の短い小さな子供が消化時間の長い野菜を毛嫌いするのに似ている。

西洋化してきた食事で我々の体が要求するもの以外の物を食べて体を混乱させている。早く言えばこんがらがった食生活からシンプルな食生活に戻れば良いのでは。昔、母が作ってくれた出汁のきいたホクホクの大根、フウフウ吹いて食べた里芋、あの時に食べた物が今の健康を保ってきたと思うと原点に戻るのが一番かと思う。

カリフォルニアのロマリングに菜食の人が多く住んでいて、この人達は菜食だが100歳以上の人が元気で生活していると聞いている。健康で年をとってゆけるとは、何と幸せであろう。シンプルな物を美味しく作り、よく噛んで、ちょっと運動も欠かすことなく、楽しく生活しましょう。頑張ってくださいネ。

## 新会員紹介

町 哲志・由利子

私たちはこの5月、3年半住み慣れたアラスカから移住してきました。北極から南極に移り住んだ感じです。以前イスラエルで生活したことがありましたので暑さはさして問題ありません。

ダラスに移っての最初の印象は、よき意味で町全体がエネルギーが豊富なこと！ダラス自身の構成年齢が比較的若い世代かな、と思いました。が、しばらく生活してみると、神風ドライバーが多いこと。I-635を走ったら、必ずと言っていいほどに交通事故を見かけ、渋滞に悩まされます。ここでオリンピックが

持たれるとしたら、高速道路の完備ではなく、運転マナーが真っ先に問題になるだろうと思います。

僕は静岡の仏教徒の家庭に生まれましたが、学生のころ、生きることに目的を見いだせず行き詰ったとき義兄を通してキリストに触れ、信仰を持ちました。教会には行ったことはありませんが、旧約聖書の言語であるヘブライ語とその舞台イスラエル、また農業共同体のキブツに憧れイスラエルに留学しました。ナチの迫害から命からがら逃れてイスラエル国の建設にあたった東欧からの帰還ユダヤ人が僕のキブツでのヘブライ語の先生であり、ミシュパハ(里親)でした。キブツ員のかつて収容所で腕に刻まれた囚人番号は生々しく、黒ずんだ青の番号は今でも目に焼き付いています。家族、親族のだれかはナチの犠牲者ですので、家族のことをお聞きするのはタブーでした。キブツで最初に教えられたことは、防空壕がどこにあるかということでした。6日戦争直後(1967年)でしたから、まだ戦時下といった状況で、時々上空でシリア軍と抗戦する戦闘機も見ながら畑仕事に励みました。また、北のキブツの上級ウルパン(ヘブライ語教室)で学んでいるときにはシリアからのロケットが隣のキブツを狙い撃ち、たとえばような轟音、しかもサクサクとカミソリの刃で紙を切り刻むような異様な音がして僕は両耳を完全に失ったと思うほどでした。

しかし、キブツで接したユダヤ人の共同体意識と生活の素朴さ、それでいて生きる情熱と真摯さ、また国への熱烈な忠誠心と愛国心は若い僕の心を強烈に捉えました。言葉の全く分からなかった異邦人に身振り手振りを交えて、ひたすらヘブライ語だけで、ヘブライ語の復活(ほぼ2千年間死後であったヘブライ語が復活したこと)をはじめ、アブラハム時代から建国に至るまでの歴史、文化、芸術、音楽等を熱烈に語り、かみ砕いて教えてくれました。ウルパンの先生のみならず、食堂や

オリーブ畑、オレンジ、グレープフルーツ、綿花の収穫にあたって一緒に働いたどのユダヤ人も同様でした。

たった2年余でヘブライ語で会話し、イスラエルの諸事情を多少なりとも理解し、意思の疎通を図る事ができるとは奇跡に近いことです。その後日本に帰り結婚したのち、再び夫婦でイスラエルに帰り、エルサレムに1年間滞在しました。この2回のイスラエル滞在の体験は、僕には衝撃的であり、得難い経験でした。自然に恵まれた四季を持つ日本ではとても考えられないイスラエルの砂漠。そこで生まれたユダヤ教、いわゆる旧約の世界です。聖書のバックグラウンドであるイスラエルへの理解と憧憬、愛着心を与えられました。日本人として聖書を理解することの面白さも味わいました。太古から天皇を仰ぐ日本の歴史とその伝統を維持する皇室の在り方、皇室の祭事や伊勢神宮の境内等は次元の相違はあっても、どこかユダヤの宗教に似ていると思います。

今でもイスラエルは世界のスケープゴートとされていますが、現在日本人の軟な平和論なぞ唱えていた日にはイスラエル国は1日として持たないだろうと思います。

内村鑑三は三つのJ(Japan, Jerusalem, Jesus)と言っています。僕は日本で生まれた日本を愛する日本人で、キリストに信じる者です。長い年月をアメリカで過ごし、アメリカも大好きな国ですが、時を得たら、もう一度エルサレムで生活をしてみたいと願っています。



## 会員広場

### 「三味線」

コーバン 富美子

「三味線」と聞いて大抵の方が先ず思い浮かべるのは、哀切かつ峻烈な響きの吉田兄弟弾ずる津軽三味線ではなからうか。一般に三味線は棹の太さに応じて太棹（ふとざお）、中棹（なかざお）、細棹（細棹）の3種類に大別されるのだが、吉田兄弟のそれは太棹の部類である。

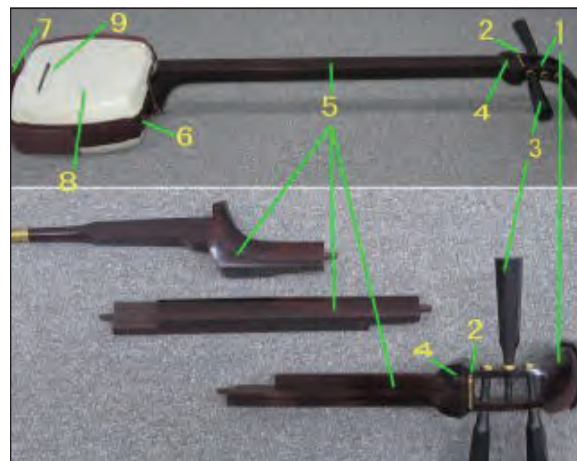
太棹の三味線はその名のとおり棹が太く胴も大きめである。津軽は勿論、浪曲や義太夫などに使われるのだが、胴には力強い叩き撥に対応できるように頑丈な厚い皮が張られている。太棹より一回り小さいのが中棹で、様々な民謡、地歌、常磐津、清元節などに使われる。そして一番小さい細棹、これは主に長唄、小唄、俗唄などで使われる。



三味線の祖先は中東イランのセタールという楽器だと言われている。イラン語で「セ」は「三」、「タール」は「弦」という意味であり、セタールは「三弦」ということになる。イランから中

国、琉球を経て当時の貿易港であった大阪の堺に伝わったのが1562年前後である。700～800年代に伝来した琴や尺八と比べて歴史は浅いが、うたや語りの伴奏楽器として三百年の長きに渡って江戸音楽文化の華であったのは間違いない。三味線を伴う、そのジャンルの多様さからも当時の流行の度合いがわかるというものである。

三味線が完成するまでには、職人（三絃師）による木材や重量の吟味に始まり、百以上に分かれた複雑な工程を経ているのだが、それらは全て手作業である。「良い音が出る三味線を作る為に、常に限界を追求しているので、毎回緊張して汗かいてやっていますよ」とは、ある三絃師の言葉である。ちなみに、現存する最古の三味線は、慶長二年に豊臣秀吉が淀殿のために京都の神田治光に作らせた「淀」と呼ばれるもので、京都の花街島原の元揚屋「角屋」にあるらしい。6年前に京都旅行をした時にはまだこの情報を持ち合わせていなかった。ああ、淀さまにひと目お会いしたかった～～ぐぐ。



ところで、三味線は三分割できるのをご存知でしょうか。そのお陰で持ち運びに便利なのは勿論だが、棹の反りやねじれを抑えられるのである。また、部分的に修理することも出来るのである。つなぎ手部分は日本の伝統工法であるホゾになっており、組み立てると見事にぴったり

と合わさり、繋ぎ目がどこだか分からないくらいである。これぞ巧みの技である。

この営々と受け継がれた三味線作りも、他の伝統文化と同様に克服すべき課題を抱えている。三味線人口の低下と素材入手の難しさ、加えて職人の高齢化である。三味線製作技術の継承は、正に瀬戸際にさしかかっている。私に出来る事は何であろうかと真剣に考えた。既に還暦を迎え手指の関節に問題を抱えているこのわが身では、三絃師の弟子入りはかなり難しい。やはり弾き続けることしかないのだ。お昼寝の時間を削ってでも、一生懸命お稽古に励まなければならぬのだ！三味線音楽を絶やしてはいけないのだ！と、思うだけは思う今日この頃である。

## 「節目とご縁」

成川 昌子

こんにちは。大変ご無沙汰いたしております。ピアニスト / ピアノ教師をしております成川昌子です。

先回グリーン会会報で確かピアニスト歴四半世紀というお題で文章を書かせて頂いた記憶があるのですが、今回は我ピアノ伴奏者歴 30 年をテーマにしたいと思います。あまり変わり映えがなくて、さらにかなり独りよがりな書き物になりそうなのですが、予めどうぞご了承ください。

約 6 年前でしょうか、大学二か所でピアノ伴奏者として非常勤講師を兼任しながら、当時ひとり娘もまだ小さく、息をつく間も無い程忙しかった頃、ひょっこりと昔の後輩からメールで、日本人のピアノの生徒さん 4 人の引継ぎをしてくれないかという依頼が来ました。その当時小さな生徒さんを教えるなど大それたことは考えもしていなかったのですが、これもご縁、困ったときはお互いさま、教える勉強もしてみるかと、思い切ってお引き受けする事にしました。

これが始めてみたらとても面白くて、生徒さんもずんずん増えて、となるとこっちの収入も増えてくるのも励みになって、一方大学職の方はパートから昇格はまずありえないしそろそろ潮時かなと思案し始めたちょうどその頃…離婚することになってしまいました。今から 2 年前になります。この離婚を機に、今までだらだら悩んでいた大学職を、とても時間的に育児との両立が無理だという理由でスッパリ辞めるキリがついたのです。まあ 6 年前から離婚後の経済的な準備建てを知らないうちにやっていたのかと思ってしまう位のタイミングで、自分でも驚くやら呆れるやら。でもお陰様で、離婚 2 年後の現在も生徒さんに慕ってもらって、保護者さんの方々にも寛大にお付き合いいただきながら、現在も元気にピアノ教師職やっています。

すみません、それで伴奏者歴 30 年の話の方はどうしてしまったの？ と思いますよね。これからご説明します。

ピアノを教え始めて間もない頃にお世話になり始めたあるご家族がグリーン会の会員さん。ある日会合にお誘いいただいて行ってみると、そこでその昔のお知り合いと再会、すると早速その方からグリーン会で演奏会をしないかとの提案をいただきました。何を弾こうかと考えた時、以前お仕事先でお会いした歌の先生をふと思い出して問い合わせたところ快く承諾いただき、数週間後この方と 2 人で次の会合で演奏会をしました。それから時が経ち、ちょうど今から半年前、このグリーン会で演奏会を一緒にした先生の同僚さんが私を覚えていてくれて、あるコンクールに参加するから伴奏をと依頼をしてくれました。それからが大変、大学を辞めた後 2 年近くピアノを弾くのからほとんどご無沙汰していて、指がとんでもなくぶよぶよになってしまっている状態からの復帰！

自分でも人生これほど集中したことがないのであると思うほど練習しました。大きなコンクールだったので、ちゃんと弾けば何かに繋がるのではないかと……。そうするとがんばった甲

妻があったのか、この私をコンクールに連れて行ってくれた方の先生が、お勤め先の大学で、今度はフリーランスで働かないかとお誘い下さったのです。フリーランスなら自分の条件に合った時間に働けるので、今の環境にぴったり！と即お引き受け。そうしたら、今ピアノを弾くのがとにかく嬉しいくて楽しくてたまらない。2年の空白もこの現在にたどり着くために起きるべきして起こったのか。それぞれの人さまとの出会いも在るべき処で在り続けてきたのか。出会いが時間を経て何処かでつながっていて、そのたびに助けていただいて、励ましていただいて、機会をいただいて、本当にありがたいとしか言いようがないのですが、どうしてこうやってご縁と運というのがうまく巡っているのでしょうか。

という風に、伴奏歴30周年を2年のブランクを経て自分勝手に喜んでいるのですが、皆様のご縁はどんな風にめぐっていらっしゃいますか？

ではまた、皆様お体にお気をつけてお過ごしください。

## 第4回「遍路転がし」

黒石美保子

部屋に戻り、同室のご夫婦と明日の予定など少しだけ話をし、仲良く3人川の字です。

3人の目覚まし一遍に鳴りだした。「ええっ、5時半！もっと寝てたいよ！寒いし起きるのやだっ！」。実際のところ1人だったらきっと寝ていたかも、しかしそうもいかないよね、良い大人なんだから。それこそ大阪オッサンの言った通り「お前みたいな愚痴言ってる奴は遍路なんか出来る訳が無い。もう帰れ！」になってしまう。

気合いを入れて起きる。朝食は、たしか6時、慌てて身支度をととのえて食堂に集合。大阪オッサンが、俺は満願したので、これをお前に

やると言って差し出したのがマーキュロン・針糸、ついでに使用方法。「今日作った足のまめは必ず毎日つぶす事、俺からの忠告だぞ！頑張れる処までやってみろ。俺はこれから大阪に帰る、じゃなっ！」と、出て行ってしまいました。

11番札所・藤井寺。宿のご主人に言われたように昨日のうちにお参りは済ませてあるので、焼山寺への上り道をまず探す。「有った、有った」本堂の奥左手に木札が遍路道を指してました。お寺まで、約13kmの山道、標高938mの八合目(700m)だそうです。女の足だと、8時間ぐらい(もちろん弱足)、まあ私はその部類、焦らず歩くしか無い。弁当、水、途中何も無しと言われてたので準備万端。いざ目指すは焼山寺。独り歩きと云えど、山道を上っていると追い越していく人、追い越される人、又追い越して、又追い越されるの繰り返し。

途中、朝のうちはやはりコーヒー、しかしトイレが無い、無いて書いてあったよなあーどうすりゃ良いんだ！



▲すだち館にて：キーウイ兄い、フランス人、奥さん、ご主人(左から、今年撮影)

どうするもこうするも、無いものは無い。野外キャンプに言ったと思うべし。もう完全な山道、上り下りの石ころ道、水にえぐられた後の歩きにくさ、落ち葉のジュータン道、苦しくなれば一休み、そして又歩き続ける。どこから全身白装束、手甲、脚絆の鈴木サンとダンディーオジさんの斉藤サンに逢ったのか記憶を辿れど覚えなし。おしゃべりしながら歩いている内に、なんとかたどり着いたよう

です。「バンザーイ、着いたよ！」

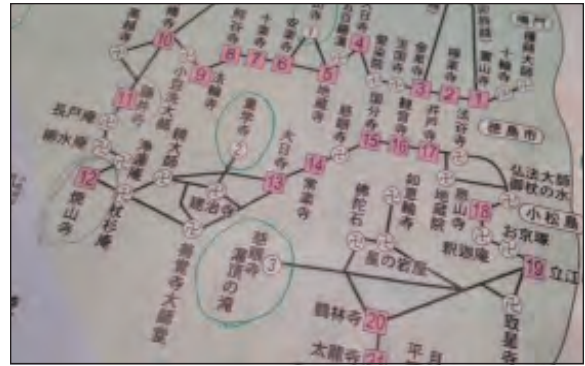
12番札所・焼山寺。苦勞して登りきった達成感が、体全体にわいて来ました、と言っても今夜の宿、善根宿すだち館まで、あと3km。斉藤サンは焼山寺宿坊、鈴木サンはもう少し先のなべいわ荘。お参りをすましてから、斉藤サンに別れを告げて私は鈴木サンと一緒に下山。あと3km、これは歩き遍路山道で、お寺からの道に間違いなし。ただ途中で車道と歩き遍路道が何度か交差しながら又歩き遍路道に入ってる。

「しまった！」気付いた時には遅すぎました。戻りもかなわず、固いアスファルトの道路を、二人とも疲れた足を黙々と運ぶ。疲れた足にはこのアスファルトが一番辛かった。1時間の処を2時間半かかり、やっとこさ私の宿に到着する。もうクタクタ～一歩も歩きたく無～いがかん中です。ここまで18,334歩。すだち館の奥さんに暖かく迎えられて、ホッと一息する間もなく「近くにある神山温泉で疲れを癒して来なさい。車が待って居るから、早く着替えを持っておいで！夕食は帰ってきたら出来てますよ」。これは御接待だから、訳解んないまま車に乗せられて温泉へ。帰りは又此処で1時間後に迎えに来るから、と言われて下ろされる。

正直なところ少し不安です。本当に迎えに来てくれるかな？一体、ここ何処なんだ！入浴券と洗面具、着替え、小銭、其れだけなんです。私が今持っているのは……成る様にシカならない…信じる事…「良かった！迎えに来てくれた。有り難う」

夕食がお店の中のテーブルの上に5、6人分用意されていました。驚いた事に着いた時は独り部屋の様だったのが

泊まりに女性が1人増えたので相部屋になると云う。素直に了解していて良かった。鳴門市から来た看護師婦長さん お遍路歴もう10年。ここは彼女の馴染み宿らしく今まで理解に困難している私に説明し始めた。善根



#### ▲ お遍路の寺の番号図

宿とは一般の方がお遍路さん達に善意で寝る場所を提供している宿。ここは1泊2食付き4,000円。温泉入浴券、車での送迎、明日のお弁当は奥さんとご主人からの御接待だから有り難く受けなさい等などー。

夕食には隣のキーウイ園のお兄さんも参加、なんだか田舎の親戚の家にでも泊めて貰ってる感覚です。山間部の夜は訪れが早い。食事おえて部屋に戻って足の手入れを始めました。「そんな手つきだと何時まで経っても豆を潰せない、ガツツと思いついて針をさせ！そうしないと明日がもっとも辛くなるぞ！」「それでも痛いのは嫌だっ！」我慢できる範囲の豆潰し。あああ一大阪のオッサンと言ひ、この婦長さんも遍路先輩達は身体も気力も迫力満点です。電気を消して話してくれた彼女の初お遍路。目に映るものと云えどどこまでも青い空と海。何故こんな痛い思いしながら歩いているのか、自分が理解出来ず泣きながら歩いた室戸への道。何度諦めて帰ろうと思ったかしかないよ。でもその度に足を前に運んでいたら歩けたんだよ。其れからと云うもの毎年時間見つけては歩いている事など、今では焼山寺登るのが楽しくて駆け足であがってくる、そしてここに泊まり御手伝いして命の洗濯しているのだと。

ちなみに私、今年も此処に厄介になりました。奥さん、ご主人、キーウイ兄いに「又、来年来いよ、待ってるからなっ！」と。おにぎり3つ入った弁当箱をリュックに詰め込んで13番札所大日寺へと歩き始める。

## 催し報告

### 料理講習会を終えて

8月28日(日)午後1時から山田由美さんのご好意により15名が参加して二色フルーツゼリーとスポンジケーキの作り方を教えて頂きました。



ホイップクリームを作る時は必ず泡立器を同じ方向に回す事、焼く前に油やバターなどをPanに塗りパーチメントシートを下と横周りに敷いておくとケーキが焼けた後に外しやすく又洗う時も感嘆な事、スポンジケーキの焼き上がりを見る時は、竹串などを使わずに手でケーキの真ん中を押して確かめる事、その他、簡単に出来るコツなどを習った後に数人がケーキのデコレーションをして皆で試食しました。

ケーキ屋さんのケーキのような出来上がりで、日本人に合った程良い甘味に皆感嘆し、冷



▲スポンジケーキ



▲二色フルーツゼリー

たく冷えた二色フルーツゼリーとともに美味しく頂きながら会話に花を咲かせました。

また山田さんが用意して下さった宮古島の塩で作った塩おにぎりやコーヒー、麦茶などの飲み物など、細かいところまで気をつけて頂きました。参加者の何人かからは私も作ってみると言う声も聞く事が出来ました。

今回、場所を提供して下さいました山田ご夫妻に簡単ではありますが、この紙面をお借りしてお礼を申し上げます。お忙しいところ誠にありがとうございました。

記：水野

### 大谷牧場でBBQパーティー

毎年10月に開催しておりました大谷牧場のBBQパーティーは日程の都合で9月18日(日)に開催致しました。心配しておりました雨も早朝に降っただけで、それからと言うもの青空の広がる暑い日となり、会員とゲスト合わせて32人が参加されました。

当日のBBQは皆で手分けして準備したカルビーやチキン、ソーセージ、コーンなどを男性軍が美味しく焼いてくださいました。また、持ち寄りの一品料理もおむすび、おいなり、煮物、サラダ、フルーツ、お菓子類など品数も多くバラエティーに富んでいて、お腹もいっぱいにな





#### ▲ スイカ割り

りました。木かげに腰掛けて、会員同士の会話も弾んでいたように思います。

この他、トレーナ付きのホースライドを楽しんだり、スイカ割りでは大きな笑いを誘い、ヘイライドで牧場を一周するなど、テキサスの秋



#### ▲ ヘイライド

の牧場を満喫されたのではないのでしょうか。

大谷さん、お陰さまで楽しいひとときを過ごすことができました。来年もよろしくお願いたします。

記：上田

## ヒューストン領事館情報

■ 9/26/16

- 1, ダラス領事出張サービスのお知らせ
- 2, その他（在留届の登録情報変更、在外選挙登録、本お知らせメール停止等）

### 1, ダラス領事出張サービスのお知らせ

当館では、在留邦人の皆さまの旅券の交付、各種証明の受付及び在外選挙人登録申請等を行うため、以下の日程でダラス領事出張サービスを行います。

#### ●ダラス領事出張サービス

- (1) 12月13日（火）午後2:30～午後5:30
- (2) 12月14日（水）午前9:30～午前11:00

旅券の交付及び証明の申請を希望される方は必要書類を以下の締め切り日までに当館に必着するように送付してください。

#### ●ダラス領事出張サービス書類締め切り

11月4日（金）

詳細につきましては、当館HPをご覧ください。ご質問等ございましたら、当館領事班までご連絡ください。

- 今後の領事出張サービス実施予定  
2017年2月 テキサス州・ダラス市  
申請受付：2017年1～2月頃

### 2, 領事出張サービスで取扱う業務

- (1) 旅券（パスポート）の交付  
（事前に申請いただいた方のみ）
- (2) 在外選挙登録申請の受付
- (3) 在留証明等各種証明書の受付
- (4) 出生届・婚姻届等戸籍・国籍関係の届出の受付
- (5) 各種相談

\*HPにも掲載されております。

<http://www.houston.us.emb-japan.go.jp/jp/info/page0-4-2.htm>

### 2, その他（在留届の登録情報変更、在外選挙人登録、お知らせメール停止等）について

#### ●在留届に関して

転居やご帰国などにより「在留届」の記載事項に変更はありませんか？

転居や帰国など「在留届」の内容に変更が生じた場合には、「帰国届・変更届」の提出をお願いします。

○インターネットによる提出「在留届電子届システム」

※インターネットでの「変更届」は、「在留届」をインターネットで提出した場合に利用できます。

<https://www.ezairyu.mofa.go.jp/index.html>

○総領事館領

事窓口又は郵送・FAXによる提出（紙媒体で提出された方）

（用紙は当館HPからダウンロードできます。）

<http://www.houston.us.emb-japan.go.jp/jp/info/page0-1.htm>

●在外選挙人登録について

在外選挙人登録はお済みですか？

海外から投票するためには、予め「在外選挙人証」を取得しておく必要があります。

取得手続きは、当館管轄内に3ヶ月以上滞在中であることを確認後から2～3ヶ月かかりますので、時間に余裕を持って登録手続きをお願いします。

<http://www.houston.us.emb-japan.go.jp/jp/info/page0-1.htm>

[go.jp/jp/info/page1-0.htm](http://go.jp/jp/info/page1-0.htm)

●メールマガジンの登録メールアドレスの変更及び配信の中止について

メールマガジンサービスの解除等を希望される方は、在ヒューストン総領事館HP内、「領事部からの重要なお知らせ」内の「お知らせメールの登録・変更・削除はこちらから」⇨「いつでもどこでも総領事館」⇨「利用者情報変更」あるいは「利用者情報削除」より手続きが可能です。

リンク先：<https://www.mailmz.emb-japan.go.jp/mailmz/menu?emb=houston.us>

在ヒューストン日本国総領事館

(Consulate-General of Japan in Houston)

住所: 909 Fannin St., Suite 3000,

Houston, TX 77010

電話番号: 713.652.2977 (代表)

FAX番号: 713.651.7822

HP:[http://www.houston.us.emb-japan.go.jp/index\\_j.htm](http://www.houston.us.emb-japan.go.jp/index_j.htm)

## ダラスグリーン会 規約

1月31日に開かれた総会で皆様から承認を得まして規約の一部が改正されましたので、ご確認下さいますようお願い致します。

\*\*\*\*\*

【名称】本会は、ダラスグリーン会という

【目的】本会は、互助の精神に則り、会員相互の親睦を図り、会員の生活向上と円滑化に寄与することを目的とする

【活動】本会は、上記の目的を達成するために次の活動をする

- (1) 会員名簿および会報の作成とその頒布
- (2) 新年会、食事会、観劇、スポーツ、ノンホストミーティング、ボランティア、およびその他本会の目的に寄与するものであり、会員の希望するもの
- (3) 緊急時における連絡網の設置

【会員】本会の会員は、本会の目的に賛同する次の者をもって組織する

- (1) ダラス地区およびその近郊に在住し、米国に永住または永住を検討している日本人とその家族
- (2) その他、本会の目的を理解し、賛同する日本人とその家族
- (3) 日本語、日本文化を理解し、かつ役員会で検討し承認された外国籍の者

【役員】本会に次の役員を置き、会の運営に当たる

その任期は1年とし、選出時期を持って区分する

選出は持ち回りとし、会員相互の話し合いによって決める

- (1) 役員代表を1人含め、役員数名（総務、

会計、渉外、行事等を担当)  
【会議】 本会は、次の会議を行い、会の円滑な運営にあたる  
(1) 総会 年1回  
(2) 役員会 随時  
【会費】 本会は、次の年会費を徴収し会の運営に必要な経費や事務費に当てる。  
決算は、年1回総会に報告するものとする  
(1) 6月までの入会者 40ドル/家族、個人30ドル

(2) 7月以降の入会者 20ドル/家族、個人15ドル  
【雑則】  
(1) 本規約を変更する場合は、総会出席者の過半数の賛成をもって決める  
(2) 本規約の他、会の運営に必要な事項は役員会において決める  
【付則】 (実施期間) この規約は2016年1月30日より実施する  
\*\*\*\*\*

## 訂正

2016年4月号の会報の10ページに掲載した新年総会報告記事の中に役員の写真を挿入してありますが、  
名前が1人間違っておりました。左から

4番目のバーノンの記載はゴメズみさ子さんの間違いでした。  
お詫びして、訂正させていただきます。  
記：上田

## 編集後記

10月に入り、すっかり秋の気配漂う季節となりましたが、会員の皆様はいかがお過ごしでしょうか。

今年も日本では台風が連続上陸して、特に東北や北海道はまれに見る大きな被害を受けたようです。

ダラスでは今年は例年になく雨量が多く、芝生の水やりも余り気にすることなく過ごせたような気がします。草木はいつもの年とは何か違うような感じを受けているのは私だけでしょうか。花見が少なかったり、桜の葉も小さかったり、早いうちから紫蘇の花が咲いたり、すすきの穂が出たりしました。皆様のところではいかがでしょうか。

早いもので今年も残すところ2カ月あまりとなりました。今年の締めくくりとして会では12月18日(日曜日に)忘年会を予定しておりますので、どうか皆様、お誘い合わせの上ご参加下さいますようお願い致します。

さて、皆様への行事等の連絡には先ずeメールを利用していますが、何かの支障で届かなかったり、また見逃したりすることも踏まえて電話による連絡も行っております。会報の場合はPDFファイルにしてeメールで送っていますが、どうしても紙面でないと見られないという方は郵送いたしますので上田までご連絡下さい。

次回会報の発行は2017年2月上旬を予定しております。毎日の生活の中で困ったことや耳寄りの情報、旅行記や料理のレシピなどの記事を書いてくださる方を募集しています。締め切りは2017年1月15日ですのでメールアドレス「chizaki@verizon.net」又は電話「972-414-1748」にメッセージを残して下さい。

尚、只今、会の運営に協力をして下さる役員を募集しています。お手伝いをしてくださる方、一緒にグリーン会を盛り立てて行きましょう。是非ご連絡下さい。お待ちしております。

上田

DALLAS  
グリーン会  
2016/10/23